

化成品事業部

建設用3Dプリンター 教育機関との取り組み

建設用3Dプリンター事業は5月にニュースリリースを発表してからさまざまな案件に取り組み始めています。

今回は、企業だけでなく大学や中学校など教育機関との取り組みの一部を紹介します。

一つ目は岐阜大学との取り組みです。岐阜大学の國枝教授は建設用3Dプリンターの研究委員会のメンバーとしての活動もされており、クラボウも参加している3Dプリンターの研究委員会のメンバーとしての活動も



▲岐阜大学國枝教授(前列左から4人目)と学生がご来場

されており、岐阜大学の國枝教授は建設用3Dプリンターの研究委員会のメンバーとしての活動もされており、クラボウも参加している3Dプリンターの研究委員会のメンバーとしての活動も

されており、クラボウも参加している3Dプリンターの研究委員会のメンバーとしての活動も

されており、クラボウも参加している3Dプリンターの研究委員会のメンバーとしての活動も

されており、クラボウも参加している3Dプリンターの研究委員会のメンバーとしての活動も

されており、クラボウも参加している3Dプリンターの研究委員会のメンバーとしての活動も

されており、クラボウも参加している3Dプリンターの研究委員会のメンバーとしての活動も

されています。

つともらう機会になればと考えています。

今後も、国内での建設用3D

プリンターの普及や用途拡大に

向けて企業だけでなく、さまざ

まな教育機関とも情報交換や新

たな取り組みを継続的に行つて

いく予定です。

(調査・開発グループ)

森田 真由
記



▲追手門学院大手前中学校の教諭2人がご来場(中央が森田さん)

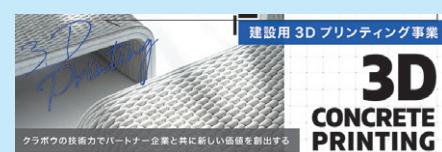
共創チャレンジとは…大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、自らが主体となつて未来に向けて行動を起こしていく、または行動を起こさうとしているチームの活動のこと。



▲「XtreeE」(エクストリー)社製の建設用3Dプリンター



◀ロボットアームの先端ノズルから材料を吐出し積層



◀クラボウロゴを積層による陰影で表現